

標準予防策チェックリスト

視点 ①ルーチンの清掃手順がある（耐性菌の場合も含む）

巡視項目	巡視項目	巡視の視点・根拠	自己チェック		ICTチェック	
			良い	要改善	良い	要改善
看護室	看護室の整理・整頓ができています	清掃がしやすい環境になっている 業務のしやすさ				
	空調がほこりで汚れていない	定期的に清掃され空調管理している 患者の療養環境が整っている				
	処置用カートは、一日一回以上消毒薬含有のもので拭き掃除している	高頻度接触箇所の清掃をしている 接触感染リスクを軽減する				
病室	オーバーテーブル、床頭台、ベッド柵、ナースコールなどの高頻度接触部位を一日一回以上消毒薬含有のもの拭き掃除している	清潔、不潔の区別をつけ整理整頓、清掃している				
	患者のベッド周りは常に整理整頓されている	患者の療養環境を整えることで接触感染予防をする				
	使用した物はすぐに片付けられている					
	血液や体液で汚染された時の清掃手順があり、実施されている	適切な手順がある 汚染拡大予防のため				
	患者が使用している流し台は清潔に管理されている	常に乾燥した状態が保たれている 湿った環境は菌の温床になる				
水回り	感染患者のベッド周りには、適したPPEが設置されている	各々のケア時にすぐに使用できるようになっている ケア毎に正しくPPEが使用出来ているか				
	流し台は清潔・不潔で区別している	交差感染のリスクが理解できているか				
	流しは常に水分を拭き取り、乾燥している	湿った環境は菌が繁殖しやすいため、常に乾燥した状態を保つ				
	スポンジは使い分け、水切りをしている	一つのスポンジで全てを洗浄していない 菌の繁殖を防ぐ				
	経管栄養のボトル、ラインは洗浄、乾燥し清潔に保管している	濡れた物品は使用しない				
	ペーパータオルは水はねしない場所に置いてある	汚染した物品からの感染を予防する				
	液体石鹸は継ぎ足ししていない	使用後は新しいボトルに交換している 継ぎ足しはグラム陰性桿菌が繁殖しやすい				
流しに使用したものが放置されていない	使用後はすぐに片づけている 湿った環境は菌の温床になる					

ミキシング	ミキシング台、点滴フックには、ミキシングに必要なもの以外置いていない	ミキシング台が清潔に管理されている 交差感染を予防する				
	作業がしやすいスペースを確保している	安全、清潔にミキシングをしている 交差感染を予防する				
	使用前にミキシング台を消毒薬含有の物で拭き掃除している	ミキシング台が清潔に管理されている ミキシング時の不潔操作を最小限にする				
浴室	入浴後、一患者毎に浴室用洗剤を使用し、清掃している	入浴後の清掃方法が決められている 清潔な状態で次の患者に使用する				
	足拭きマットは清潔なものを使用している	患者毎交換し、決められた場所に設置している 清潔な状態で次の患者に使用する				
	洗面用具は個人持ちにしている	患者個人に用具を準備してもらっている 共有物品は交差感染のリスクがある				
汚物処理室	汚物室は整理整頓されている	物品の定位置が決められている 汚染を拡大させないため				
	浸漬消毒の際は、フタ付き容器を使用し、器具の全てが浸かっている	正しく消毒出来ている 消毒薬の揮発を防ぐため				
	洗浄した物は、乾燥し清潔に保管されている	不潔にならないよう管理している 洗浄したものを不潔にしない				